

学校再編だより

干潟中学校

—第3号—

—保護者と地域の協働による検討会議—

令和7年8月発行

旭市教育委員会教育総務課 学校再編室

(仮称)北統合中学校にかかる

第2回干潟中学校地域検討会議を開催しました

8月8日(金)午後6時30分からひかた市民センターにおいて、第2回干潟中学校地域検討会議を開催しました。

今回の会議では、「統合のメリット・デメリット」、「生徒数の推計」、「北統合中学校の候補地」について説明し、質疑応答を行いました。その後、委員全員から統合校の位置に対する意見や質問などを述べてもらいました。

会議で出た意見をもとに、今後も中学校再編について検討していきます。

会議で出た主な意見

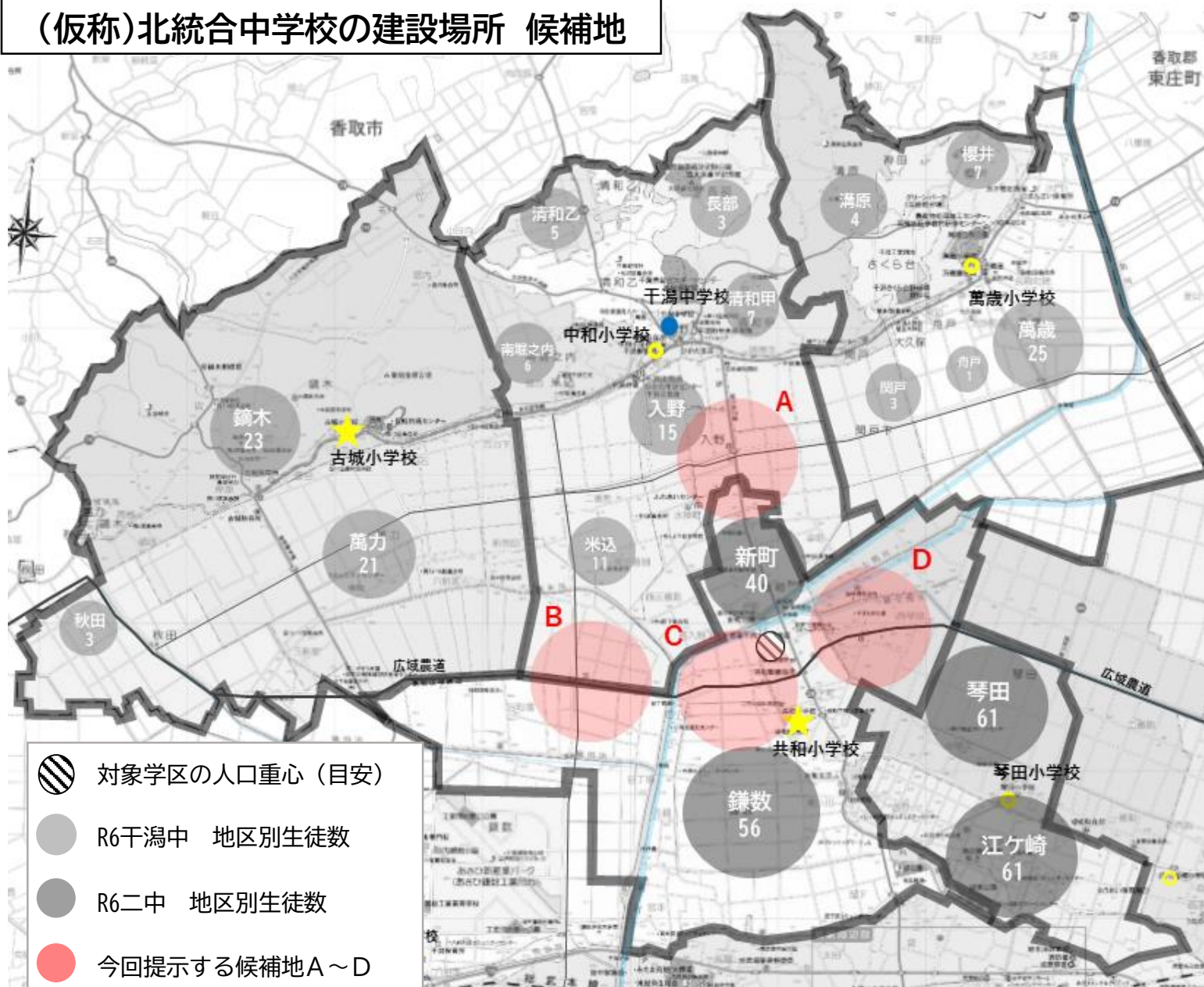
・生徒数の推移を考えると旭市に3校(北中、南中、東中)も必要ない。結局またすぐに統合の話が出ることになるので、最初から2校でいいと思う。	・立派な校舎ができて、一学年2学級になってしまつては統合した甲斐がなくなってしまうと不安に思った。それでも新設するというのであれば、学区の中心のAがいいと思う。
・学区の中心であるAにすれば、みんな自転車で通いやすくていいと思う。人口重心に近いCもありかと思うが、周辺道路の拡張なども考えるとAのほうがいいと思った。	・Dは琴田・共和寄りにずれているという印象があるのでないと思う。ABCの中では、琴田・共和小のことを考えるならばBかCがいいと思う。
・干潟学区の人口推移を考えるとC辺りがいいと思うが、通学の安全性や財源のことを考えるとAかBがいいと思うので、まだ決められない。	・過疎地域を盛り上げるためにもAかBがいいと思う。渋滞緩和や周辺住民の苦情を避けるためにも、住宅密集地からは外れて、静かな広いところに建ってほしい。
・生徒数が二百数十人でお金をかけて新設校を作るというのは市として大丈夫なのか。また10年くらいで統合になるような気がしてならない。	・大きい川があつたり、広域農道の交通量などを考えるとAかBがいいと思う。今後さらに暑くなり熱中症の危険性もあるので、スクールバスも検討してほしい。
・通学のことを考えるとAがいいと思うが、干潟地区は一番人数が少ないので、自分が琴田・共和側の人間だったらAはないと思ってしまう。	・過疎債が使えることを考えると、経済的な面でAかBがいいと思うが、広域農道は交通量が多いので、安全面を考えるとAがいいと思う。

第3回会議開催予定 日時:令和7年9月22日(月) 午後6時30分から

場所:ひかた市民センター

※この会議は傍聴することができますが、会場内のスペースの関係により定員を10名とします。あらかじめご了承ください。

(仮称)北統合中学校の建設場所 候補地



A:入野ローソン交差点付近 B:谷丁場交差点付近 C:広域農道(新川～新町交差点) D:広域農道(新町交差点～西琴田)

(仮称)北統合中学校 生徒数推計

	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17	2036 R18	2037 R19
1年生	108	103	93	95	90	87	81	91	74	92	68	66	68
2年生	116	108	103	93	95	90	87	81	91	74	92	68	66
3年生	118	116	108	103	93	95	90	87	81	91	74	92	68
合計 (学級数)	342 (12)	327 (11)	304 (10)	291 (9)	278 (9)	272 (9)	258 (9)	259 (9)	246 (9)	257 (9)	234 (8)	226 (7)	202 (6)

※R7. 5月時点の小学校1年～6年の児童数及び住民基本台帳の6歳～1歳の人数を基に異動がないと仮定して推計
 ※学級数は一学級35人として計算

学校再編ホームページ

学校再編基本方針の説明動画

北統合中学校の説明動画

地域検討会議



【お問い合わせ先】 旭市教育委員会教育総務課学校再編室
 TEL:0479-85-8614 FAX:0479-62-5855
 Email:kyo-saihen@city.asahi.lg.jp